

【 1 】 つぎの史料A～Gについて、問に答えよ。

A 彼等は常に口を開けば直ちに忠愛を唱へ、恰も忠君愛国は自分の一手専売の如く唱へて居りまするが…彼等は玉座を以て胸壁と為し、詔勅を以て弾丸に代へて政敵を倒さんとするものではないか。

I

B 所謂普通選挙も左まで憂ふべきにも非ざれども、階級制度打破と云ふが如き、現在の社会組織に向て打撃を試みんとする趣旨より納税資格を撤廃すと云ふが如きは、実に危険極る次第にて…。

II

C 加藤と前後して高橋も来た。犬養も来た。三党首皆揃うた。ソコで我輩が一通り憲政擁護の為め、三派聯合の必要を説くと何れも異議なく賛成して、護憲三派の結合が愈此に成立ったのだ。

III

D 二月二十六日午後八時十五分陸軍省発表 本日午前五時ごろ一部青年将校等は左記箇所を襲撃せり
首相官邸 岡田首相即死 斎藤内大臣私邸 内大臣即死

IV

E 本法ニ於テ国家総動員トハ、戦時（戦争ニ準ズベキ事変ノ場合ヲ含ム以下之ニ同ジ）ニ際シ国防目的達成ノ為、国ノ全カヲ最モ有効ニ發揮セシムル様、人的及物的資源ヲ統制運用スルヲ謂フ。

V

F 帝国ハ、自存自衛ヲ全フスル為対米（英蘭）戦争ヲ辞セサル決意ノ下ニ、概ネ十月下旬ヲ目途トシ戦争準備ヲ完整ス。

VI

G 朕深く世界の大勢と帝国の現状とに鑑み非常の措置を以て時局を取捨せんと欲し茲に忠良なる爾臣民に告ぐ。朕は帝国政府をして米英支蘇四国に対し其の共同宣言を受諾する旨通告せしめたり。

1 史料A～Gに関する設問に答えよ。

1. Aの演説を行った人物と彼の正しい組合せを選んで答えよ。

ア. 尾崎行雄－西園寺公望 イ. 大隈重信－桂太郎 ウ. 大隈重信－西園寺公望 エ. 尾崎行雄－桂太郎

2. Aの演説後、内閣を退陣に追い込んだ国民的運動のスローガンの正しい組合せを選んで答えよ。

①憲政擁護 ②政費節減 ③民力休養 ④地租軽減 ⑤閥族打破

ア. ①・④ イ. ②・③ ウ. ①・⑤ エ. ②・④

3. Bで普通選挙尚早論を述べた人物と納税資格を撤廃した年の正しい組合せを選んで答えよ。

ア. 寺内正毅－1925年 イ. 原敬－1925年 ウ. 寺内正毅－1928年 エ. 原敬－1928年

4. Cの三党にあてはまらない政党の組合せを選んで答えよ。

①政友本党 ②憲政会 ③革新倶楽部 ④日本共産党 ⑤立憲政友会

ア. ①・④ イ. ②・③ ウ. ①・⑤ エ. ②・④

5. Cの後に総辞職した内閣と新たに成立した内閣の正しい組合せを選んで答えよ。

ア. 寺内正毅内閣－高橋是清内閣 ウ. 清浦奎吾内閣－加藤高明内閣

イ. 清浦奎吾内閣－高橋是清内閣 エ. 寺内正毅内閣－加藤高明内閣

6. Dの一部青年将校等が属した天皇親政による国家改造を目的とした陸軍内部のグループとその中心人物の正しい組合せを選んで答えよ。

ア. 皇道派－荒木貞夫 イ. 統制派－荒木貞夫 ウ. 統制派－永田鉄山 エ. 皇道派－永田鉄山

7. Dに関するできごと①～③を古い順に並べ換えたものを選んで答えよ。

①国体明徴^{めいちょう}声明 ②滝川事件 ③五・一五事件

ア. ①－②－③ イ. ①－③－② ウ. ③－①－② エ. ③－②－①

8. Dの影響として正しいものを選んで答えよ。

ア. 天皇機関説が政治問題化した。 ウ. 血盟団^{けつめいだん}による要人暗殺がつづいた。
イ. 軍部大臣現役武官制が復活した。 エ. 統帥権干犯^{かんぱん}問題で政府が攻撃された。

9. Eの法案を立案した機関を選んで答えよ。

ア. 枢密院 イ. 通商産業省 ウ. 参謀本部 エ. 企画院

10. Fを御前会議で決定した内閣を選んで答えよ。

ア. 平沼騏一郎^{ひらぬまき いちろう}内閣 イ. 近衛文麿内閣 ウ. 東条英機内閣 エ. 阿部信行内閣

11. Gの帝国の現状に関するできごと①～③を古い順に並べ換えたものを選んで答えよ。

①広島に原子爆弾投下 ②米軍の沖縄本島上陸 ③ソ連の対日宣戦布告

ア. ②－①－③ イ. ②－③－① ウ. ③－①－② エ. ③－②－①

12. Gの帝国政府と共同宣言の正しい組み合わせを選んで答えよ。

ア. 鈴木貫太郎内閣－カイロ宣言 ウ. 幣原喜重郎内閣－ポツダム宣言
イ. 幣原喜重郎^{しではら きじゅうろう}内閣－カイロ宣言 エ. 鈴木貫太郎内閣－ポツダム宣言

2 つぎの外交に関する史料①～⑩は、史料A～G間I～VIのどの時期にあてはまるかを選んで答えよ。

- ① 従^{したがっ}テ合衆国政府ハ日本国カ支那ニ於テ特殊ノ利益ヲ有スルコトヲ承認ス。…且右両国政府ハ常ニ支那ニ於テ所謂門戸開放又ハ商工業ニ対スル機会均等ノ主義ヲ支持スルコトヲ声明ス。
- ② 締約国ノ一方カ、一又ハ二以上ノ第三国ヨリノ軍事行動ノ対象ト為ル場合ニハ、他方締約国ハ該紛争ノ全期間中中立ヲ守ルヘシ。
- ③ 吾等ハ、日本国政府カ直ニ全日本国軍隊ノ無条件降伏ヲ宣言シ且右行動ニ於ケル同政府ノ誠意ニ付適当且充分ナル保障ヲ提供センコトヲ、同政府ニ対シ要求ス。
- ④ 帝国政府ハ爾後国民政府ヲ对手トセス、帝国ト真ニ提携スルニ足ル新興支那政権ノ成立發展ヲ期待シ、是ト両国国交ヲ調整シテ更生新支那ノ建設ニ協力セントス。
- ⑤ 各締約国ノ主力艦合計代換噸数ハ基準排水量ニ於テ、合衆国五十二万五千噸、英帝国五十二万五千噸、…日本国三十一万五千噸ヲ超ユルコトヲ得ス。
- ⑥ 「ソヴィエト」連邦カ左ノ条件ニ依リ連合ニ与シテ日本ニ対スル戦争ニ参加スヘキコトヲ協定セリ…三、千島列島ハ「ソヴィエト」連邦ニ引渡サルヘシ。
- ⑦ 支那国政府ハ、独逸国カ山東省ニ関シ条約其他ニ依リ支那国ニ対シテ有スル一切ノ権利利益讓与等ノ処分ニ付、日本国政府カ独逸国政府ト協定スヘキ一切ノ事項ヲ承認スヘキコトヲ約ス
- ⑧ 帝国政府ハ此ノ上連盟ト協力スルノ余地ナキヲ信シ、連盟規約第一条第三項ニ基^{もとづ}キ帝国カ国際連盟ヨリ脱退スルコトヲ通告スルモノナリ。
- ⑨ 日本国ハ、独逸国及伊太利国ノ欧州ニ於ケル新秩序建設ニ関シ、指導的地位ヲ認メ且之ヲ尊重ス。
- ⑩ 日本国及滿州国ハ、締約国ノ一方ノ領土及治安ニ対スル一切ノ脅威ハ同時ニ締約国ノ他方ノ安寧及存立ニ対スル脅威タルノ事実ヲ確認シ、両国共同シテ国家ノ防衛ニ当ルコトヲ約ス。

解答

【1】1

- | | | | | | |
|-----|-----|-----|------|------|------|
| 1 エ | 2 ウ | 3 イ | 4 ア | 5 ウ | 6 ア |
| 7 エ | 8 イ | 9 エ | 10 ウ | 11 ア | 12 エ |

【1】2

- | | | | | | |
|------|-----|-------|------|-------|-------------|
| ① I | ② V | ③ VI | ④ IV | ⑤ II | |
| ⑥ VI | ⑦ I | ⑧ III | ⑨ V | ⑩ III | 以上各2点 合計44点 |

解説

A 尾崎行雄の桂内閣弾劾演説(『大日本憲政史』) 1913.2

I

B 原敬の普通選挙尚早論(『原敬日記』) 1920.2

II

C 第二次護憲運動(『観樹将軍回顧録』) 1924.1

III

D 二・二六事件(『東京日日新聞朝刊』) 1936.2

IV

E 国家総動員法(『法令全書』) 1938.4

V

F 帝国国策遂行要領(『日本外交年表並主要文書』) 1942.9

VI

G 終戦詔書(『日本外交年表並主要文書』) 1945.8

- ① 石井・ランシング協定(『日本外交年表並主要文書』) 1917.11
- ② 日ソ中立条約(『日本外交年表並主要文書』) 1941.4
- ③ ポツダム宣言(『日本外交年表並主要文書』) 1945.7
- ④ 第一次近衛声明(『日本外交年表並主要文書』) 1938.1
- ⑤ ワシントン海軍軍縮条約(『日本外交年表並主要文書』) 1922.2
- ⑥ ヤルタ協定(『日本外交年表並主要文書』) 1945.2
- ⑦ 二十一カ条の要求(『日本外交年表並主要文書』) 1915.1
- ⑧ 国際連盟脱退通告(『日本外交年表並主要文書』) 1933.3
- ⑨ 日独伊三国同盟(『日本外交年表並主要文書』) 1940.9
- ⑩ 日満議定書(『日本外交年表並主要文書』) 1932.9